

## 令和4年度 公募研究助成の審査結果について

日本透析医会では、公益事業の一環として、適正な人工透析療法の普及、技術の向上及び腎不全医療（特に透析医療）を推進するための学術研究に対し、助成を実施しております。

令和4年度の公募研究助成については、多数の応募をいただき、厳正、慎重に審査を行い、理事会の承認を経て、以下の10課題に対し総額20,000,000円を助成することといたしました。

1. HIF-PH 阻害薬の常染色体優性多発性嚢胞腎（ADPKD）患者の貧血や肝腎容積に及ぼす影響についての研究 1,240,000 円  
虎の門病院分院 腎センター内科  
諏訪部達也
2. 受動的傍細胞リン輸送機構の解明 2,870,000 円  
大阪大学 大学院医学系研究科  
松井 功
3. HIF-1 遺伝子多型並びに HIF-PHD 阻害薬の投与前後の mi-RNA の挙動 2,380,000 円  
昭和大学藤が丘病院 腎臓内科  
佐藤 芳憲
4. 透析患者におけるオステオサルコペニアのバイオマーカーと新規治療戦略の構築 1,765,000 円  
東京医科歯科大学大学院 腎臓内科学分野  
橋本 博子
5. HIF-PHD 阻害剤による2型自然リンパ球活性調節を介した腎線維化制御機構の解析 1,269,000 円  
昭和大学医学部 微生物学免疫学講座  
長島 隆一
6. 腹膜透析における腹膜機能障害、線維化に対するトランスグルタミナーゼをターゲットとした新規治療戦略の検討 2,660,000 円  
愛知医科大学医学部 内科学講座 腎臓・リウマチ膠原病内科  
伊藤 恭彦
7. 間歇補充型血液濾過透析による肝臓内局所酸素飽和度への影響 1,419,000 円  
自治医科大学附属さいたま医療センター 腎臓内科  
大河原 晋
8. 下肢潰瘍に対するアフレスス療法の治療メカニズムの解明およびバイオマーカーの開発 2,277,000 円  
横浜市立大学医学部 循環器・腎臓・高血圧内科学  
涌井 広道
9. 体外循環後の腎障害に対する硫化水素の腎保護効果と腎臓ミトコンドリア機能の検討 2,300,000 円  
札幌医科大学付属病院 麻酔科学講座  
大野 翔
10. 腎微小環境のプロテオーム解析による IgMPC-TIN の病態解明 1,820,000 円  
福井大学 医学系部門 腎臓病態内科学  
高橋 直生